

## 9 将来にわたる実質的な財政負担

将来にわたる実質的な財政負担（地方債現在高＋債務負担行為額－積立金現在高）は、地方債現在高が増加したものの、債務負担行為額の減少及び積立金現在高の増加により、前年度より72億1,074万7千円減少（△1.3%）し、5,419億8,002万6千円となった。

第15表 将来にわたる実質的な財政負担の状況 (単位：百万円、%)

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
地方債現在高 A	655,303	649,869	5,434	0.8
債務負担行為額 B	95,168	101,255	△6,087	△6.0
積立金現在高 C	208,491	201,933	6,558	3.2
将来にわたる実質的な財政負担 A+B-C	541,980 (1.44)	549,191 (1.47)	△7,211	△1.3
(対標準財政規模※20年度から臨時財政対策債発行可能額を含む。)	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.55	※臨時財政対策債発行可能額を除いた場合は、1.58		

第11図 将来にわたる実質的な財政負担の推移

